

## 会員研修・ビジネス委員会 基本方針（案）

会員研修・ビジネス委員会 委員長 松尾 陽介

1 昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大は、一般社団法人佐賀青年会議所の活動のみならず、各メンバーの仕事や生活にも様々な影響を及ぼしています。ニューノーマルといわれる生活様式の変化は、今まで緩やかだったテレワーク、新しいデジタルツール等の活用を急速に発展させました。このような社会情勢の中、佐賀青年会議所は人財の確保のみならず、メンバーの資質向上を目指し、他団体と協働し、時代の変化に合わせた事業の形を創り出す必要があります。

2 まずは、今後の佐賀青年会議所を担う人材を確保会員拡大に繋げていくために、当委員会が候補者の情報を収集し体制を整え、特定のメンバーだけでなくメンバー全体で拡大意識をもって行動できる組織づくりを行います。そして、仮会員の参加意欲や絆を高めるために、研修においてコミュニケーションの場を設けて、仮会員同士の繋がりづくりをサポートし、正会員後も積極的に活動に参加できる環境づくりを行います。さらに、新型コロナウイルス感染症の状況下においても会員同士の友情を育むために、仮会員と正会員との交流の場を設け、相互理解を促進し、今後に繋がる信頼関係を築き上げます。また、昨今の社会情勢の変化に対応したビジネスに活用するため、時代に合ったセミナーや講演を行い、メンバーの青年経済人としての意識向上・資質向上となる機会を創出します。そして、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、地域活動を継続し佐賀を盛り上げていくために、時代に即したデジタルツール等を活用し自分たちの事業でも活用することで、他団体に積極的に関わることを模索し新たな地域づくりを提案します。

22 大きな転換期を迎えた今、佐賀青年会議所だからこそできる挑戦をし、魅力を高め、時代に合わせた人財づくりを行うとともに、これまで以上に地域振興の取り組みを継続し、現在（いま）を生き抜き次代へつないで参ります。

23

### 24 [事業計画]

- 25 1. 新入会員並びに会員研修の企画・運営（通年）
- 26 2. ビジネス事業の企画・運営（7月）
- 27 3. 厄入厄晴の企画・運営（2月）
- 28 4. 例会の企画・運営（4月・11月）
- 29 5. シニア交流事業の企画・運営（7月）
- 30 6. サマーコンファレンス参加者への支援（7月）
- 31 7. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）